

第6章 山代地域の方針

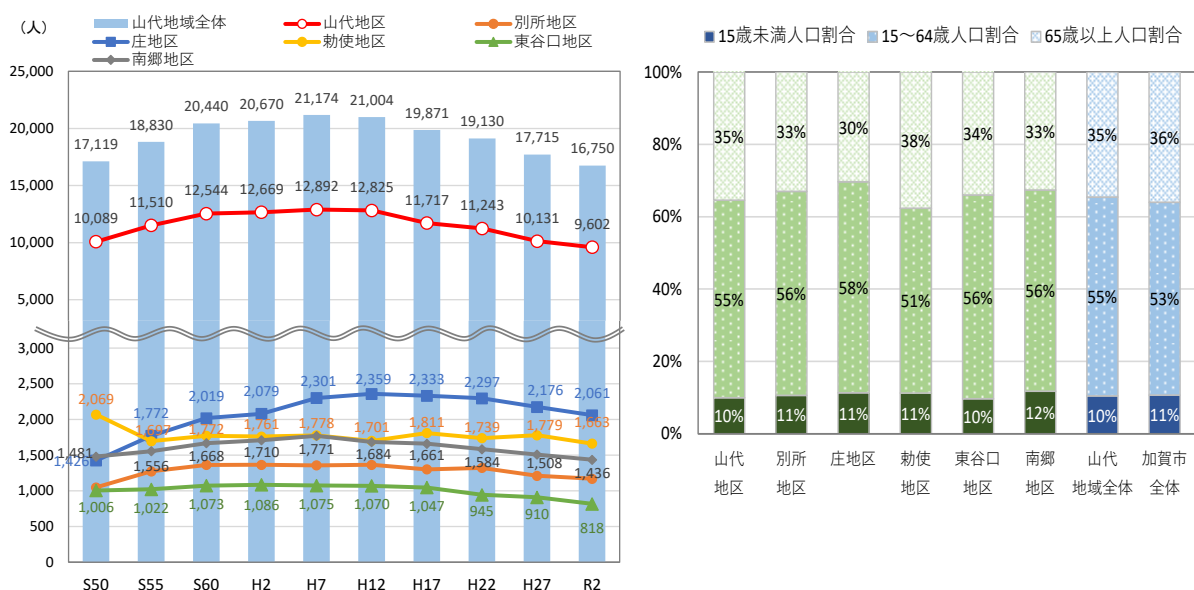
1) 山代地域の現況及び課題

(1) 人口

山代地域の人口は、平成7年のピーク時から令和2年までの25年間で4,424人(21%)減少しています。

地区別の人口では、ピーク時と比較すると、山代地区、東谷口地区の減少割合が高くなっています。

年齢別の割合について、市全体と各地区を比較すると、勅使地区のみ、老年人口(65歳以上)の割合が高くなっています。



(2) 地域の特徴

自然

大日山を源とする大聖寺川と動橋川が地域を流れ、鞍掛山や山代市街地の後背に広がる萬松園など、緑豊かな自然環境を有しているほか、平野部では田園風景が広がっています。

歴史・文化

開湯 1300年の歴史と文化を有する湯の曲輪を中心とした山代温泉に加え、狐山古墳や法皇山横穴古墳など遺跡のほか、伝統工芸の九谷焼など多くの歴史文化資産が残されています。

都市基盤施設

一般国道8号・364号などの幹線道路が地域内をっており、都市計画道路山代粟津線などの整備が進められています。また、山代市街地には、松籟公園や桔梗ヶ丘広場などの都市公園や、加賀市文化会館などの公共公益施設が立地しています。

災害・防災

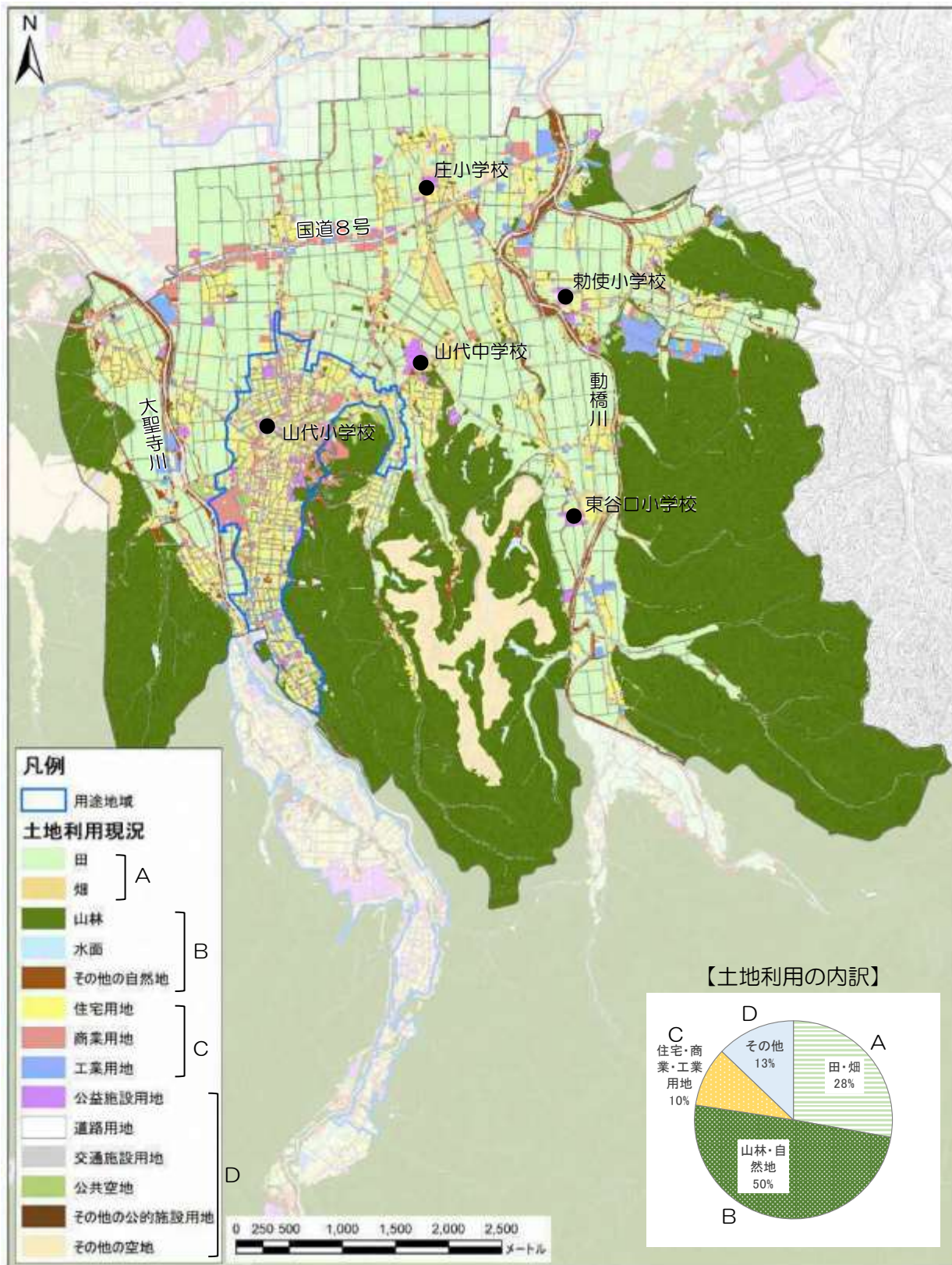
大聖寺川及び動橋川周辺の一部が浸水想定区域になっており、山間部には土砂災害特別警戒区域がみられます。

(3) 土地利用

山代温泉を中心に市街地が形成され、地域の北部には一般国道8号が通り、その沿道には商業利用がみられます。

大聖寺川と動橋川が地域内を南北に流れ、北部の平野には農地、南部には山林が広がっています。

【山代地域の土地利用現況図】



(4) 市民アンケート調査による住民意向

豊かな自然が地区の魅力として挙げられており、住まい環境については、満足されているほか、開発については、空き地や空き家の活用が求められています。

工場については、住環境に影響がなければ地区内での立地を容認する意見が多いほか、商業施設については、特に問題ないという意見が多い一方で周辺に生活必需品を扱う店舗が無くて不便との意見が挙がっています。

公園、緑、景観については、特に問題ないとの意見が多く、概ね満足されていることがうかがえるほか、道路については、雪に強い道路を求める意見、防災・防犯については、特に問題ないという意見がある一方で、防犯対策を求める意見が挙がっています。

【地区の魅力】

①	自然が豊か	49%
②	温泉がある	43%
③	災害の心配が少ない	34%

【開発について】

①	空き地・空き家を活用すべき	43%
②	農地等での多少の宅地開発はよい	39%
③	積極的に宅地開発を行うべき	16%

【住まい環境について】

①	満足している	41%
②	防犯・防災上不安	29%
③	災害が不安	20%

【工場について】

①	住環境に影響がなければ地区内に工場があっても良い	44%
②	住環境に影響がなければ家の近くにあっても良い	28%
③	地区内には新たな工場の進出は望まない	17%

【商業施設の状況について】

①	特に問題ない	40%
②	生活必需品を扱う店舗が無くて不便	30%
③	徒歩圏に大型商業施設等があると良い	24%

【道路や交通施設について】

①	雪に強い道路が必要	44%
②	安全で快適な道路が必要	25%
③	特に問題ない	23%

【公園について】

①	特に問題ない	36%
②	地区のイベント等ができる公園が必要	25%
③	遊具・スポーツ施設等が充実した公園が必要	20%

【緑について】

①	特に問題ない	49%
②	里山や森の自然を保全すべき	21%
③	街路樹はこれ以上必要ない	16%

【景観について】

①	特に問題ない	55%
②	白山連峰などの自然景観・眺望を保全すべき	19%
③	まちなみと調和した道路や街路樹により景観保全すべき	17%

【防災・防犯について】

①	特に問題ない	25%
②	空き家の防犯対策	25%
③	防犯カメラの充実	22%

(5) 地域別懇談会からみる住民意向

南加賀道路の整備促進や、公園施設の再整備のほか、新幹線駅開業に向けた地域内の通過交通対策が求められています。

また、空き家・空き店舗・廃業旅館等の活用のほか、市ノ瀬用水の防災対策の推進などが求められています。

【地域別懇談会で出された意見の要旨】

区分	出された主な意見
道路・公園	<ul style="list-style-type: none"> ○南加賀道路の整備促進または計画見直し ○主要地方道小松山中線の融雪装置の整備 ○あけぼの通りの修繕 ○勅使地区などの通学路等における歩道や自転車道の整備 ○加茂町内における通過交通に対する安全対策の充実 ○道路の適切な維持管理 ○公園施設の再整備 ○新たな公園整備は不要
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○新幹線駅開業に向けた地域内の通過交通対策 ○金沢駅までの鉄道の路線数が少ない ○市役所や加賀温泉駅に向かう公共交通の充実 ○巡回スクールバスの運行 ○地域内（各集落）をカバーする公共交通の確保 ○民間や学校、温泉旅館等と連携した公共交通のあり方検討 ○周遊バスやのりあい号の適切な情報発信 ○MaaSなど、デジタル技術の活用
環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家、空き店舗、廃業旅館等の活用 ○温泉通りの景観形成（統一されたデザイン） ○自然景観と調和のとれたスマートシティの推進
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○浸水の恐れのある避難所の代替施設の確保 ○除雪対策の充実 ○市ノ瀬用水の防災対策の推進、内水氾濫の抑止 ○別所地区急傾斜地の調査推進 ○農業用ため池（越中谷池（くじら池）、真菰ヶ池、法地池、赤穂池）の適正管理、必要性確認 ○防犯カメラや照明設置など、防犯対策の充実
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○下水道の計画的な整備、維持管理 ○小学校（山代、庄、勅使、東谷口）の統廃合のあり方検討 ○山代文化会館や温泉街における駐車場の不足



(6) 山代地域の課題

地域が抱える課題は、全体構想をはじめ地域の現況や住民意向などを踏まえ、体系的に整理して抽出します。

分類	地域の課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○定住促進をめざし、良好な住環境を保全しつつ、空き地や空き家を活用した、ゆとりある居住空間の創出 ○スマート化を意識した便利施設の誘導による市街地のコンパクト化 ○廃業旅館対策 ○一般国道8号沿道における魅力ある商業空間の形成 ○市街地周辺における住宅地開発の抑制、自然環境や優良農地の保全
人口	<ul style="list-style-type: none"> ○定住促進と人口流出の歯止め ○高齢化や障がい者などに対応した都市施設のユニバーサルデザイン化
都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ○南加賀道路や都市計画道路山代粟津線の整備促進 ○下水道区域の見直し ○安全な歩道や自転車走行空間の確保 ○地域内の通過交通などに対する安全対策 ○公共交通の利便性向上 ○公園施設の再整備
自然	<ul style="list-style-type: none"> ○動橋川上流の渓谷や里山、鞍掛山や白山の眺望など景観の保全 ○自然とふれあい楽しむための散策路などの整備や管理の充実
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ○狐山古墳や法皇山横穴古墳などの遺跡の保全と活用 ○総湯を核とした湯の曲輪の活用と景観保全、歴史的情緒溢れる温泉街の再生
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○総湯・古総湯を核とした魅力ある温泉街の整備と温泉産業の振興 ○一般国道8号沿線の活性化
災害・防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○河川や水路、ため池の適正管理による防災対策 ○土砂災害対策の推進 ○空き家対策や防犯灯等による防犯対策

2) 山代地域の将来都市像

(1) 将来都市像

温泉と歴史文化資産を活かした、趣のあるコンパクトなまち

開湯 1300 年の歴史と文化を有する温泉を中心とした地域として、総湯や九谷焼など地域資源を活かしたまちづくりにより、市街地への定住促進に加え、趣と活力が集約された地域を目指します。

(2) 実現に向けた基本方針

○滞在型の温泉観光と人々の暮らしが融合した魅力あるまちづくり

歴史ある温泉地として、総湯・古総湯を中心とした魅力ある温泉街の形成や、看板や建物の外観の統一による情緒ある景観の形成を図るとともに、宿泊施設と周辺商業・観光施設及び九谷焼などの伝統産業が連携した、活力ある滞在型の温泉街づくりを推進します。

また、まちづくり活動や住民交流の活性化のほか、定住促進を図るため、良好な住環境と職住近接のまちづくり推進に加え、スマート化を意識した利便施設の誘導により、コンパクトな市街地の形成を図ります。

○新たな価値を創造し続ける未来型のエリアの創出

地域北西部（中代町北部周辺）においては、新たな価値を創造し続ける未来型のエリアとして、先端技術を活用しながら、周辺環境と調和した循環型のまちの形成を図ります。

○郊外集落の活性化とコミュニティの維持

農村集落や中山間地の集落においては、公共交通の確保のほか、地区のまちづくり運動や地域活動の支援などにより、集落の活性化とコミュニティの維持を図ります。

○歴史文化資産や自然資源を活かしたまちづくり

狐山古墳や法皇山横穴古墳などの歴史文化資産を保全・活用するとともに、温泉情緒のある湯の曲輪の形成など、そぞろ歩きができる潤いある地域づくりを推進します。

また、萬松園をはじめとする風致地区や鞍掛山、動橋川などの自然資源は、保全・活用するとともに、遊歩道や親水空間の充実により、自然とふれあえる環境づくりを推進します。

○都市基盤の整備と幹線道路沿いの沿道サービス機能の充実

都市計画道路山代粟津線の早期完成や通学路をはじめとした市街地内における道路の安全対策の推進のほか、下水道区域の見直し、地域の公園施設の充実など、都市基盤を充実することにより、住みやすい市街地環境を整えます。

一般国道8号（都加賀国道線）などの幹線道路沿いにおいては、沿道サービス型を中心とした商業機能の充実を図り、ドライバー及び地域住民の利便性を確保するほか、一般国道8号の4車線化や南加賀道路の整備促進による渋滞解消や地域間の連携強化に加え、山代の温泉通りの整備により、温泉街の賑わいを創出します。

3) 山代地域のまちづくり方針

(1) 土地利用の方針

居住地区

市街地内の一戸建て住宅や共同住宅を中心とした住宅地は、良好な住環境の保全と充実を図るほか、職住が共存する地区は、住民の日常利便性を確保しつつ、商店や事務所及び町工場などの小規模な商工業施設と共存を図り、地域活力を生み出す産業機能の確保と定住促進を目指します。また、市街地に多く存在する空き家は、空き家バンクへの登録を推奨し、積極的活用を図り、特に傷みの激しい空き家は、管理者による撤去などの対策を促進します。

沿道利活用地区

一般国道8号(都)加賀国道線(津波倉町～中代町区間)や一般県道片山津山代線(都)片山津インター山代線(加茂町～山代温泉区間)の沿道は、良好な景観保全や周辺住宅地と調和した適切な土地利用に配慮しつつ、交通利便性を活かした施設の立地を誘導します。

スマートシティ先導地区

地域北西部(中代町北部周辺)は、安全・安心で便利なスマートシティを実現するため、デジタル技術等の先端技術を導入した業務・商業・観光など多様な施設を誘導し、特別用途地区や地区計画制度を活用しながら、新たな価値を創造し続ける未来型のエリアとして、作見地域のスマートシティ先導地区と一体的に周辺環境と調和した循環型まちづくりを進めます。

温泉文化地区

湯の曲輪周辺は、宿泊施設や商店街及び住民が連携し、まちなみ再生による魅力向上に加え、自然の恵みである温泉を市民と観光客が共に享受できる、滞在型の温泉観光地づくりを推進します。

また、生活利便施設の誘導と、住宅地の住環境の改善を図り、松籟公園などの地域資源や廃業旅館、施設跡地などの利活用により、商業や住居が共存した利便性の高い地域づくりを進めるほか、空き家は積極的に店舗などに活用してもらうことで、地区の魅力向上と賑わい創出を図ります。

工業集積地区

別所漆器団地と宇谷野工場団地は、周辺の自然環境などに配慮しつつ、工業地としての機能充実を支援することに加え、宇谷野工場団地では、工業の利用を促進するため、用途地域の指定を検討します。

田園・集落地区

農村集落では、周囲を田園や緑に囲まれた集落環境を維持し、周辺部での開発抑制を図るほか、優良農地を保全するとともに、農産物の高付加価値化や地産地消を推進し、地域の農業振興を図ります。

また、動橋川沿いにおいては、桜並木の保全により、水と緑の景観づくりを進めます。

丘陵保全活用地区

集落の背後に広がる丘陵地は、身近な里山として環境保全するほか、ゴルフ場は、本市の重要な観光資源として、周辺の自然環境への影響に十分配慮しつつ、現状のエリアを維持します。

山間保全活用地区

地域南部の山林では、環境保全に努めるとともに開発を抑制し、健全な森林整備により、里山資源による中山間地の活性化を図ります。

山代市街地の背後に広がる萬松園は、温泉街の輪郭となる緑であり、環境保全を図る一方、森林にふれ親しみ、歴史や文化発祥ゆかりの地を巡る散策路等の整備に努めます。

(2) 都市基盤整備の方針

(2-1) 道路整備の方針

幹線道路

一般国道8号（(都)加賀国道線(加茂町～松山町区間)）の4車線化の整備促進を関係機関に働きかけるほか、南加賀道路（小坂町～山代温泉区間）は、小松市方面へのアクセス向上を図るため、関係機関への働きかけにより早期事業化を目指します。

都市計画道路山代栗津線は、山代温泉や山中温泉と小松方面の交通アクセスの円滑化を図る道路として、整備促進を関係機関に働きかけるほか、都市計画道路山代動橋線は、沿道商店街の賑わいづくりのため、安全な歩行空間整備と無電柱化を検討します。

生活道路

市街地や集落における幅員の狭い道路や線形の悪い道路については、通学や防災、交通安全面から優先度を定めて、順次、拡幅や線形改良、見通しの改善を行います。

自動車と自転車、歩行者の空間が混在している路線については、路線の状況に応じた歩車空間の共有化により、それぞれの安全性を確保します。

(2-2) 公共交通の方針

バス交通は、路線バス温泉山中線、山代大聖寺線の維持とともに、観光周遊バス（キャン・バス）の維持及び市民利用の促進を図ります。

バス路線のない地区においては、デマンド交通の運行により運行本数やサービス内容の改善に努め、分かりやすい運行情報の提供や利用促進を図ります。また、地区の利用状況に応じ、停留地点、運行本数などを見直し、MaaS などデジタル技術を活用することでサービスの質向上を図ります。

(2-3) 公園・緑地整備の方針

萬松園公園は、官民連携での整備を行うことにより、市民生活の質の向上と広域観光の拠点である温泉地の活性化を図るほか、松籟公園は、多世代交流や自然とふれあえる公園として、設備の充実とともに、災害時の避難場所として防災機能を維持します。また、九谷広場は、まちづくり活動や地域イベントでの活用を推進するほか、山代スマートパークは、多世代交流やテクノロジーを体験できる場として官民連携により活用を図ります。

本地域では、山代地区を中心に街区公園や近隣公園、その他の身近な広場等が整備されており、利用者ニーズの対応と、ユニバーサルデザイン化による利用しやすい公園の充実を図ります。

これらの公園・緑地・広場の維持管理は、地区住民等によるアドプトプログラムでの維持管理を促進し、施設の適正管理と地区住民の愛着醸成を図ります。

(3) 環境保全・形成の方針

自然環境の保全

狐山古墳や法皇山横穴古墳、萬松園風致地区などは、史跡や都市の風致を維持する緑地として保全・活用を図るほか、大聖寺川及び動橋川をはじめとする河川や、地域内に点在するため池などにおいては、生態系に配慮した水辺環境整備を推進し、下水道の加入などの促進により、生活排水による河川の水質の悪化を防止します。

山間部の森林は、水源を涵養するとともに動植物の生息地であるため、保全に努め、自然観賞・休養やレクリエーション及び環境教育に活用できる散策路の整備を推進します。

各集落の後背丘陵地や平野部の里山や農地は、動植物の生息地及び水源の涵養地として、保全を図ります。

生活環境の保全・形成

市街地の良好な環境と景観が維持されるよう、地域住民が主体となった美化活動の推進や作業の効率化を支援するほか、夜間まで営業する店舗や施設などは、適切な場所への立地を誘導します。また、温泉街を訪れる観光客の存在が地域住民の迷惑とならないよう、地域と温泉事業者等との間でのルールの下、地域住民の生活環境の保全に努めます。

別所漆器団地などの市街地に立地する工場については、近隣への騒音、振動などの影響が最小限となるよう、定期的な確認や指導等を行い、周辺の居住環境の保全を図ります。

市民や事業者の理解と協力を得ながら、民有地における緑の保全と育成を図り、また、河川や道路の緑を軸として、住宅地や商店街などは生け垣設置や緑化により、沿道空間の緑のネットワークの形成を誘導します。

農林業に有害な動物の出没がみられる地区においては、農地などを害獣から守る柵の設置や必要に応じた捕獲により、農林業被害の防止や生活環境の保全に努めます。

(4) 景観保全・形成の方針

自然景観

市街地を囲む萬松園など風致に優れた松林や、集落の後背丘陵地の緑地、鞍掛山をはじめとした山並みなどは、森林の景観保全に努めるほか、大聖寺川や動橋川などの主要な河川では、景観に配慮した護岸改修や散策路の整備を推進し、水と緑の景観づくりを進めます。また、動橋川沿いでは、桜並木の保全を図ります。

歴史・文化的、伝統的景観

狐山古墳や法皇山横穴古墳などの歴史文化資産の周辺において、良好な景観を保全します。

市街地・集落景観

総湯・古総湯周辺では、湯の曲輪の風情を醸す建築物を誘導するとともに、薬王院・服部神社周辺や萬松園など、山代温泉固有の景観保全を図ります。また、温泉客がそぞろ歩きをしながら温泉情緒を味わえるよう、景観を阻害する廃業旅館や空き地・空き家対策推進のほか、住民参加による清掃や緑化に努めます。

農村集落周辺の農地では、屋外広告物の抑制や農地の保全により、田園の景観保全を図ります。

(5) 防災・防犯の方針

災害の未然防止

丘陵・山間地の縁に沿って存在する土砂災害が懸念される箇所での防災対策をはじめ、大聖寺川・動橋川や地域内に点在するため池などの洪水対策など、自然災害の減災を図ります。

雪害対策では、一般国道8号をはじめとした幹線道路の重点的な除雪を働きかけるとともに、通学路や生活道路の優先的除雪など、迅速かつ効率的な除雪体制を市民と協働で構築します。

被害抑制

地震や豪雨による土砂災害などの大規模災害に備え、加賀市文化会館などの災害避難拠点や避難場所となる公園などの防災機能強化に努めるほか、安全な避難経路の確立を図ります。

温泉市街地の建物密集地では、建物の耐震化促進のほか、生活に必要な施設の耐震化整備や市街地及び集落における消防水利施設の充実を図ります。

交通安全・防犯

市街地における見通しの確保や自動車への注意喚起と速度抑制による交通の安全確保を進めるほか、防犯灯等の設置や廃業旅館・老朽空き家の撤去の促進などにより、安全で安心なまちづくりを推進します。

【山代地域のまちづくり方針図】

